※令和３年度以前入学生用

学校番号	２１５

令和５年度　理科

教科	理科	科目	生物	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校理科用「 生 物 」（ 啓林館 ）						
副教材等	セミナー生物基礎＋生物（第一学習社）　ニューステージ新生物図表（ 浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

理科・生物という枠組みに捕われず、授業を通じて知識や情報を活用し、広い視野と論理的な思考力を身に付け、学際的な興味関心を養う訓練をしていることを意識して学習に取り組んで下さい。

２　学習の到達目標

生物や生命現象に対する探究心を深め、目的意識を持って観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理、法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	身近な生命現象や生物に対して観察と実験を通じて関心や興味をもち、自主的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	習得した既知の知識を用いて課題から問題を見いだして探究する過程を通して、未知の事象や最新の科学的成果を探求し、その結果得たものを的確に表現し他者に伝えることができる	観察・実験を通して機器の操作を習得し、客観的に対象を観察してデータを取り、それを分析して結果を導き出すことができる	生物や生命現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	確認テスト 定期テスト ワークシート レポート 実験等	確認テスト 定期テスト 実験レポート 成果発表等	確認テスト 定期テスト レポート 実験等	確認テスト 定期テスト レポート 実験等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期中間	生殖と発生	動物の生殖と発生 動物の配偶子形成と受精 初期発生の過程 植物の生殖と発生 被子植物の受精 胚と種子の形成 植物の器官形成	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○	a:一つの細胞（受精卵）が発生の過程で様々な器官を生じ、一つの個体へと成長していく様子から、生物の共通性と多様性に関心をもつ。 b:発生の過程で胚が空間的・時間的に変化していく様子を理解し、図や文章で表現できる。 c:細胞分裂や胚発生の過程を標本にし、顕微鏡などを用いて観察できる。 d:各内容の知識を理解する。	定期考査 実験レポート 課題レポート
1学期末	生物の環境応答	刺激の受容と反応 刺激の受容 神経・神経系 効果器 動物の行動 生得的行動 学習行動 植物の環境応答 植物ホルモン 植物の環境応答とホルモン	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:動物と植物が生き延びるために刺激に対してどのように反応するかを様々な具体例を通じて関心を持つ。 b:刺激に対する応答が動物と植物で異なることが、各々の身体の構造の違いによることを理解する。 c:刺激受容の実験を身体で体験し、そのしくみを理解する。植物の成長過程を観察して環境応答のしくみを理解する。 d:各内容の知識を理解する。	定期考査 実験レポート 課題レポート
2学期中間	生物の進化と系統	生物の進化 生命の起源と生命の変遷 生物界の変遷と地球環境の変化 人類の起源と進化 進化とそのしくみ 進化の証拠 生物の変異と進化 生物の系統 生物の分類と系統	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:地球上に多様な生物が存在することと、多様性を生み出した進化の過程に関心を持つ。 b:多様性を生み出す元が遺伝子の組み合わせによることを再認識し、それと進化が起こるしくみを結び付けて説明する。 c:様々な生物の生態や形態の観察を通じて、異なるところや共通点を見つける。 d:各内容の知識を理解する。	定期考査 実験レポート 課題レポート

※令和３年度以前入学生用

2学期末	生物の進化と系統 生態と環境	生物の系統 界とドメイン 細菌ドメイン 古細菌ドメイン 真核生物ドメイン 個体群と生物群集 個体群とその変動 種内関係・種間関係 生物群集とその構造 生態系 生態系と物質生産 生態系と生物多様性	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 多様な生物を系統で分類し、その名前や特徴を調べる。 b: 生物間の相互関係が生態系を構成し、生物の多様性が生態系を保持していることを理解する。 c:様々な生物の生態や形態の観察を通じて、異なるところや共通点を見つける。 d:各内容の知識を理解する。	定期考査 実験レポート 課題レポート
学年末	全範囲の復習	各単元の復習	○	○	○	○	a:これまで得た生物の知識が、医療や農業畜産に応用されている例を調べる。 b:生物に関連する情報をニュースなどから抽出し、どこが問題か、どこが斬新か、などを議論できる。 c:これまで実験・観察した結果を振り返り、発表する。 d:知識の定着を確認する。	定期考査 実験レポート 課題レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。